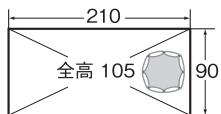


仕様

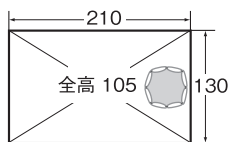
寸法

※図中の単位はcmです。

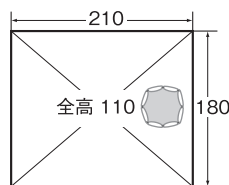
○ステラリッジ®1 スノーフライ #1122480



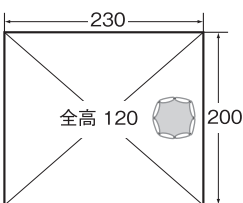
○ステラリッジ®2 スノーフライ #1122481



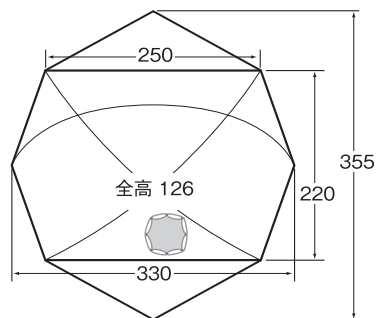
○ステラリッジ®3 スノーフライ #1122482



○ステラリッジ®4 スノーフライ #1122483



○ステラリッジ®6スノーフライ #1122484



素材

- 本体：70デニール・ナイロン・リップストップ（通気撥水加工）
- 補強：420デニール・ナイロン
- ※ベグ、張り綱は付属していません。

対応テント

- ステラリッジ®テント 1、2、3、4、6型
- X-TREK™マイティドーム 1、2型
- ※2014年以前製造の「ステラリッジ®テント」および「X-TREK™マイティドーム」には対応していません。

その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

mont-bell

取扱説明書

ステラリッジ® スノーフライ

Stellaridge Snow Fly

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

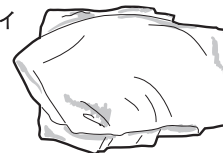
特長

本製品は積雪期に防寒、防風性を高めるステラリッジ®テントおよびX-TREK™マイティドーム専用の外張りです。1型から4型はジッパーの凍結等のトラブルを防ぐため、出入口に吹き流し式を採用し、6型は天候による使い分けを考えて前室後室をそれぞれジッパー式と吹き流し式に分けています。多くのガイポイントと大きなスノースカートを持ち、より確実なテントの固定を可能にしています。素材は耐候劣化の少ない生地を使用し、要所には補強を施しています。

各部の名称



スノーフライ
シート



収納袋



取扱説明書
(本説明書)



■ 安全上の注意 必ずお読みください

⚠ 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品内や本製品の近くでは、絶対に火気を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 出入り口やベンチレーターを常に開け、換気は充分ご注意ください。
- 台風、落雷、強風、豪雨、大雪などの厳しい自然条件の際は、キャンプ場の管理担当者の指示に従い安全な場所に避難してください。
- 河原や河川付近に設営する際は気象条件により突然増水することがあります。設営場所は特に注意してください。

⚠ 警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本製品を設営される際は、周囲の環境や気象条件などを充分考慮し、安全を確認してください。
- 出入口は風下側を選び設営してください。強風で本製品が飛ぶおそれがあります。
- 本製品の設営の際は水はけがよく、出来るだけ平らな場所を選んでください。
- 本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。性能が損なわれ、十分に保護能力が発揮できないおそれがあります。
- 使用前は毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できないおそれがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できないおそれがあります。

⚠ 注意 人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 本製品は、雪用です。雨のときは通常のフライシートを使用してください。
- 稜線上や大木の近く、広い草原では落雷にも注意してください。
- キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- 設営地はできるだけ平坦で、危険のない場所を選んでください。
- 使用の際は必ずベグと張り綱で固定してください。砂地や雪上では状況に応じたベグ等が別途必要です。
- 本製品は太陽光線の紫外線により生地が劣化します。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- 本製品に慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に必ず試し張りを行ってください。
- テント本体の安全上の注意をよくお読みください。
- 本製品のフライシートの生地には防水加工が施されています。外気との温度差が大きいと、結露によって生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。本製品の換気を行うことで改善することができます。

■ 使用前の点検

生地に破れがないか

■ 使用方法

○ 組み立て方法

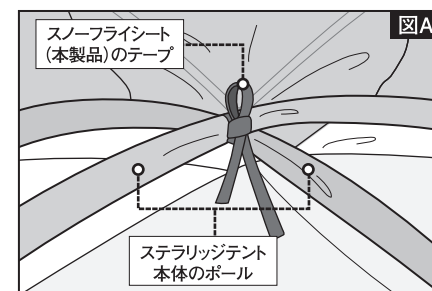
新しいテントに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、必ず試し張りを行ってください。
冬場にテントを設営される際は、雪崩・雪庇・吹雪等自然条件を十分に考慮した上で設営して下さい。
設営後は強風に備え風上側に雪のブロック等で防風壁を作ってください。なお、設営前に出入口は風下側を選びます。冬場は北半球においては北西風が吹くことを考慮してください。

1. テント本体の組み立て

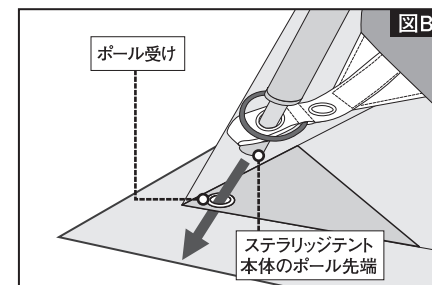
各テント本体の取扱説明書をご覧ください。
(テント本体のレインフライシートは取りつけません。)

2. スノーフライシート(本製品)の取り付け

①あらかじめ設営されたステラリッジテント本体(レインフライシートを除く)に出入口がずれないように本製品をかぶせます。この際、本製品頂点部内側のテープでテント本体のフレームの交点を結んでおくことでテントの剛性を高め、強風時の安定性を高めることができます。



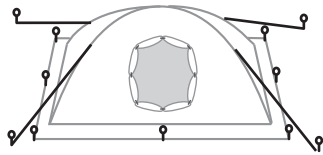
②テント本体のコーナーのポール先端を本製品のコーナーポケットにあるポール受けに通します。
※4カ所(1~4型) 8カ所(6型)



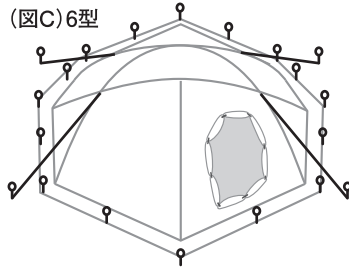
3. スノーフライシートの固定

- ① スノースカートの設けられたループにスノーペグやピッケルなどを通し、雪面に固定します(図C)。
※コーナーと各辺のテープにはピッケルなどを通すことのできる大きさのループを設けています。
(1,2,3,4型4ヶ所、6型8ヶ所)

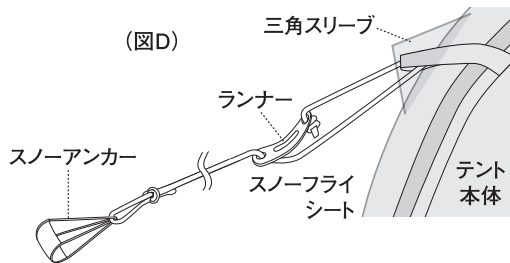
(図C) 1,2,3,4型



(図C) 6型



- ② フライシート4箇所の三角スリーブからテント本体の張り綱を引き出して同様に雪面に固定し(図D)、スノースカートを雪を盛ってください。(この際アイゼンなどでスノースカートを傷つけないようご注意ください。)

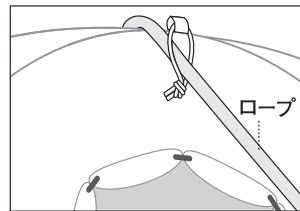
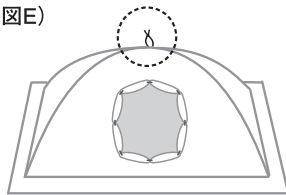


※雪上で使用される際はランナーを通したループをテント側にセットして使用します(雪上では張り綱の末端は雪の中に埋めて使用されることが多いため)。

※スノーアンカーは別売です。

- ② 強風時にロープ等を用いてテントを外側から押さえつけられるよう、外側の頂点にループを設けています。(図E)

(図E)



○ 破損時の対応

1. テント本体

生地破損については別途リペアシートをご用意しております。

※下山後は修理を依頼してください。販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスにお問い合わせください。

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干しして乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置するとカビの発生する可能性があり、また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、フライシートの撥水性能(水を弾く力)が低下した場合は別売のS.R.スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。生地を傷めるおそれがあります。

■ 保管方法

- 本製品を長期間使用せずに保管する場合は、なるべくゆるくたたみ、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。付属の収納袋は、携行性を重視しているため、きつめにたたまないで入らないので使用を避けてください。
- 火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形や損傷の原因になります。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお客様の自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お問い合わせいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お問い合わせいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。